

2020年12月10日

報道機関 各位

多文化社会学部の木村研究室が 100年前の第1回国勢調査の記念録を発見！

長崎大学多文化社会学部の木村直樹研究室が、長崎市長崎学研究所・東京大学史料編纂所との共同調査で、ご協力いただいた松浦功氏（北九州市在住）の所蔵品の中から、長崎県における第1回国勢調査の記念録を発見しました。

今回発見された記念録は、100年前に行われた第1回国勢調査に際し、長崎県下で調査の中心を担った当時の長崎の地域の有志が作成した記念記録で、奇しくも国勢調査100年目の節目に見つかりました。

【発見された記念録について】

- 関係者のみに配布されたとみられ、長崎県下では、現在県立図書館所蔵分のみ確認されており、個人宅から見つかるのは極めて珍しいことです。なお、各県で同様の記念誌は作成されたとみられますが、現存する県はそれほど多くありません。
- 全3巻からなり、第1・2巻は全国の総覧で、第3巻として長崎県版がセットされています。第3巻には、地域ごとに調査員として活動した人々の顔写真とプロフィールが掲載されています（次頁写真参照）。長崎市だけでも52名の調査員がおり、そのプロフィールからみると、第1回目の調査が、政財官の地元の名士たちを動員して初めて遂行されたことがよくわかります。
- 珍しい資料であると同時に、100年前の長崎県下が、どのような人々を中心に運営されていたのかを分析する学術資料としての価値があります。
- 発見された記念録は、現在研究のために木村研究室が保管しています。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

国立大学法人長崎大学 多文化社会学部 教授 木村 直樹
TEL : 095-819-2914 E-Mail : n-kimura@nagasaki-u.ac.jp



第1回日本国勢調査記念録 表紙

